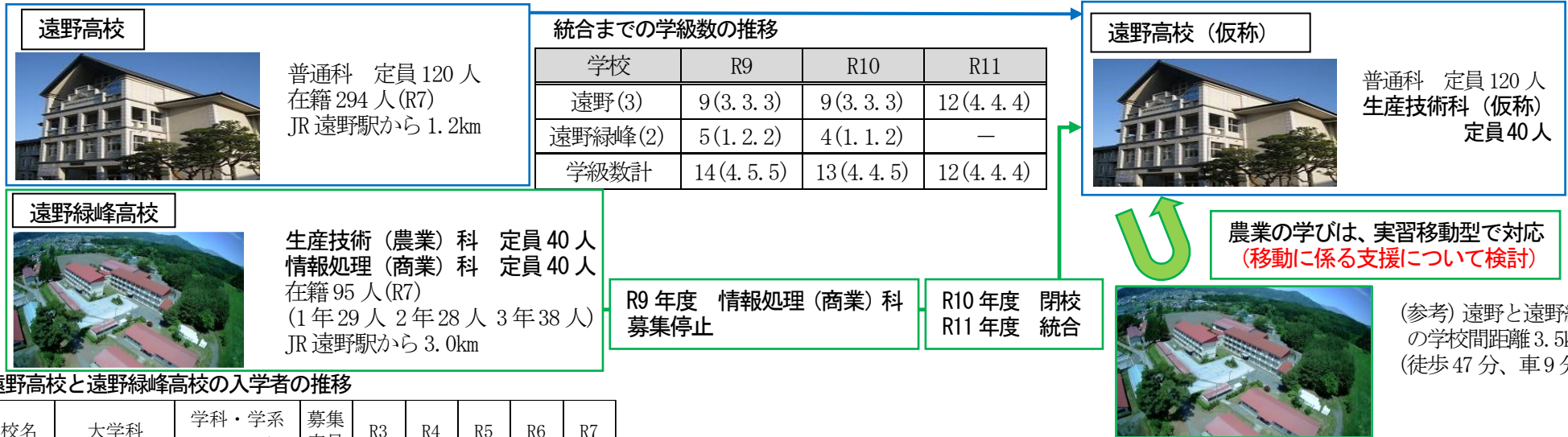


遠野高校と遠野緑峰高校の統合について

「実習移動型の校舎制とし、生徒の移動に係る支援について検討する」ことを追記します。

- 遠野緑峰高校については、令和7年度までの入学志願者の状況等を踏まえて、令和9年度に情報処理（商業）科を募集停止としたうえで、令和11年度に遠野高校との統合を行います。
なお、統合に当たっては、両校の校舎及び施設等を有効に活用する実習移動型の校舎制の形態とし、生徒の移動に係る支援について検討します。
- 統合後は普通科3学級、農業科1学級の合計4学級とし、遠野地区の高校を一定規模で維持します。
- 統合後の生産技術（農業）科の学びは、基本的に同一の校舎で学び、実習等の場合に現在の遠野緑峰高校の農場及び校舎を活用します。農業の実習をする日は遠野緑峰高校の校舎に登校するなどカリキュラムを工夫します。

令和7年度（現状）・・・・・・・・・・＞＞令和9年度（計画2年目）・・・・・・・・・・＞＞令和11年度（計画4年目）



遠野高校と遠野緑峰高校の入学者の推移

学校名	大学科	学科・学系・コース	募集定員	R3	R4	R5	R6	R7
遠野	普通	普通	120	105	117	83	104	108
遠野緑峰	農業	生産技術	40	27	31	36	25	21
	商業	情報処理	40	14	11	8	5	8

遠野高校と遠野緑峰高校の入学者の推計

学校名	大学科	学科・学系・コース	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
遠野	普通	普通	93	88	92	94	75	80	66	70	68	62
遠野緑峰	農業	生産技術	26	24	26	27	20	22	17	19	19	17
	商業	情報処理	7	6	7	7	5	6	4	5	5	4

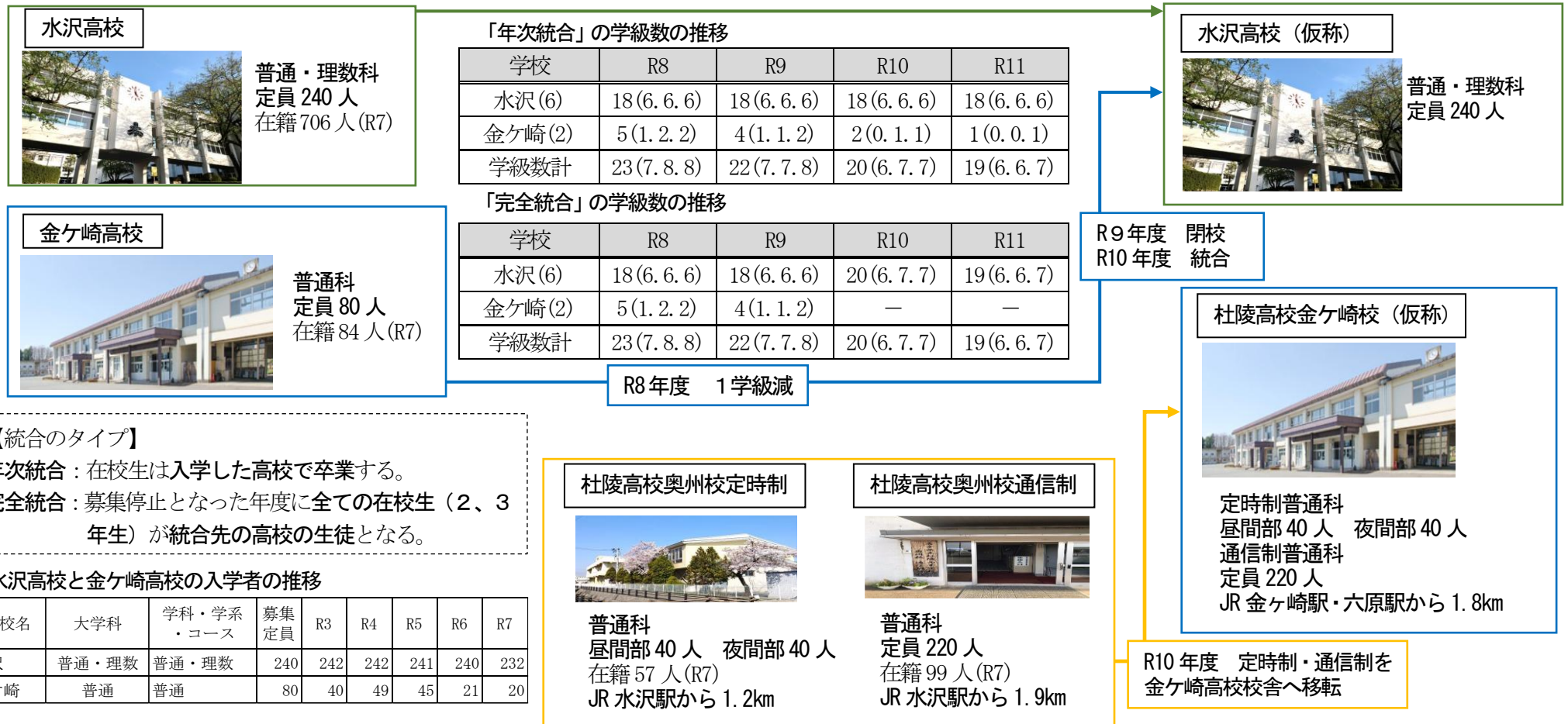
いわて留学の状況

学校	学科		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
遠野	普通科	人数	—	—	—	—	—	1	0	3	3	2	6	15
		内訳	—	—	—	—	—	東京1		北海道1 神奈川2	神奈川3	宮城1 東京1	青森1 秋田1 宮城1 埼玉1 千葉1 東京1	
遠野緑峰	生産技術科	人数	—	—	—	—	—	0	0	1	0	0	0	1
	情報処理科	内訳	—	—	—	—	—			埼玉1				
		人数	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0
		内訳	—	—	—	—	—							

水沢高校と金ヶ崎高校の統合及び杜陵高校奥州校の移転について

- 金ヶ崎高校については、令和7年度までの入学志願者の状況等を踏まえて、令和10年度に募集停止とし、水沢高校との統合を行います。
- 統合のタイプは、金ヶ崎高校の在校生が金ヶ崎高校で卒業した後に統合する「年次統合」と金ヶ崎高校の在校生が水沢高校の生徒として卒業する「完全統合」があり、どちらにするかは、両校の統合に向けての協議で検討します。
- 杜陵高校奥州校については、校舎及び施設等の教育環境の整備をし、定時制課程・通信制課程の一層の充実を図るため、令和10年度に統合後の金ヶ崎高校の校舎へ機能を集約します。
- 現在別々の校舎に設置されている杜陵高校奥州校の定時制と通信制をまとめて移転し、県南部における定時制・通信制高校の拠点とします。

令和7年度（現状）・・・・・・・・・・・・・>>令和8年度（計画1年目）・・・・・・・・・・・・・>>令和10年度（計画3年目）



工業及び農業の学びの配置バランスについて

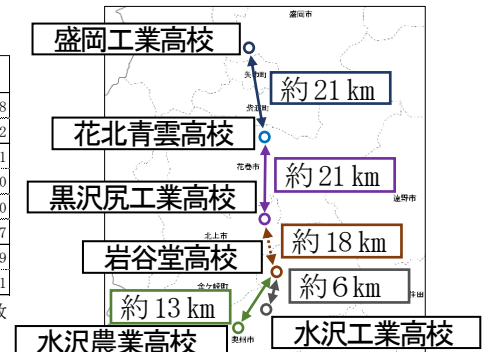
- ・ 花北青雲高校については、工業の学びの配置バランスを考慮して、令和10年度に情報工学（工業）科を募集停止とします。
- ・ 岩谷堂高校については、農業及び工業の学びの配置バランスを考慮して、令和10年度に生物生産（農業）系列及び産業工学（工業）系列の選択の募集を停止します。
- ・ 盛岡工業高校については、地域振興の方向性や産業構造、中学生の志望動向、高校卒業後の進路状況等を見据え、令和10年度に学科の改編を行ったうえで、令和12年度を目途に旧盛岡南高校の校舎及び施設等を活用した教育環境の整備をします。
- ・ 黒沢尻工業高校については、地域振興の方向性や産業構造、中学生の志望動向、高校卒業後の進路状況等を見据え、令和9年度に既存の1学科を半導体関連の学科へ改編します。



盛岡工業高校、花北青雲高校、黒沢尻工業高校、水沢農業高校、水沢工業高校の入学者、岩谷堂高校の関係系列選択者の推移

学校名	大学科	学科・系列	募集定員	R3	R4	R5	R6	R7
盛岡工業	工業	機械	40	39	32	34	40	36
	工業	電気	40	40	40	29	36	40
	工業	電子情報	40	40	40	36	40	40
	工業	電子機械	40	40	34	37	36	38
	工業	工業化学	40	12	15	15	20	11
	工業	土木	40	25	40	27	36	35
	工業	建築・デザイン	40	37	40	38	40	40
学校名	大学科	学科・学系・コース	募集定員	R3	R4	R5	R6	R7
花北青雲	工業	情報工学	40	34	37	39	35	28
	商業	ビジネス情報	80	70	69	81	75	80
	家庭	総合生活	40	27	42	39	40	29
	工業	機械	40	40	25	25	37	29
黒沢尻工業	工業	電気	40	26	32	22	28	25
	工業	電子	40	25	30	21	27	25
	工業	電子機械	40	38	23	30	29	24
	工業	土木	40	30	20	17	24	13
水沢農業	農業	農業科学	40	29	24	30	21	18
	農業	食品科学科	40	16	20	14	13	12
	工業	機械	40	31	37	40	36	21
	工業	電気	40	23	27	24	27	20
水沢工業	工業	設備システム	40	26	37	28	38	30
	工業	インテリア	40	33	18	40	31	17
岩谷堂	総合	生産生物	20	20	19	23	19	
	総合	産業工学	11	13	14	15	11	
	総合	産業工学	11	13	14	15	11	

※岩谷堂は2年次での選択者数



水産及び調理師養成施設の学びの配置バランスについて

宮古商工高校と宮古水産高校については、校舎の一体整備の時期を「令和9年度（当初案）」から「令和10年度」に修正します。

大船渡東高校については、食物文化（家庭）科の募集停止（1学級減）の時期を「令和10年度（当初案）」から「令和12年度」に修正します。

久慈翔北高校については、海洋科学（水産）系列の選択停止の時期を「令和10年度（当初案）」から「令和12年度」に修正します。

宮古水産高校については、水産及び調理師養成施設の学びを集約する時期を「令和10年度（当初案）」から「令和10年度から令和12年度にかけて」に修正します。

- 宮古商工高校と宮古水産高校については、令和9・10年度に校舎及び施設等を同一校地内に集約し、両校の施設の供用化を図るなど、一体的に整備します。
- 高田高校については、水産の学びの配置バランスを考慮して、令和10年度に海洋システム（水産）科を募集停止とします。
- 大船渡東高校については、これまでの志願者の数から1学級減が必要であり、調理師養成施設の学びの配置バランスを考慮して、食物文化（家庭）科の調理師養成施設を除く家庭の学びを農芸科学（農業）科の中にコース等として維持したうえで、令和10・12年度に食物文化（家庭）科を募集停止とします。
- 久慈翔北高校については、これまでの志願者の数から1学級減が必要であり、水産及び調理師養成施設の学びの配置バランスを考慮して、令和10年度に総合学科を1学級減とし、海洋科学（水産）系列の選択の募集を停止及び食物系列の家庭の学びを維持したうえで、調理師養成施設を廃止し、令和12年度に海洋科学（水産）系列の選択の募集を停止します。
- 宮古水産高校については、令和10年度から令和12年度にかけて県立高校の水産及び調理師養成施設の学びを集約し、機能の重点化を図ります。



高田高校、大船渡東高校、宮古水産高校関係学科の入学者久慈翔北高校関係系列の選択者の推移

学校名	大学科	学科・系列	募集定員	R3	R4	R5	R6	R7
高田	水産	海洋システム	40	15	9	11	11	11
大船渡東	家庭	食物文化	40	23	19	23	18	24
宮古水産	水産	海洋生産	40	9	15	12	10	9
	家庭	食物	40	22	26	31	28	22
久慈翔北	総合	海洋科学		9	25	7	12	11
	総合	食物		23	15	10	18	14

※久慈翔北は2年次での選択者数、R6以前は久慈東

「中学生の進路希望等に関するアンケート」（R5.7月実施）
進学先として希望する学科

地区	水産に関する学科	家庭に関する学科
沿岸南部	1.2%	2.2%
宮古	2.3%	2.9%
県北	1.0%	1.3%

水産及び調理師養成施設の集約の時期について

(当初案)

R10	沿岸南部		県北		
	高田・水産	大船渡東・調理師	久慈翔北・水産	久慈翔北・調理師	※高田、大船渡東、久慈翔北 1 学級減



(修正案)

R10	沿岸南部	県北	
	高田・水産	久慈翔北・調理師	※高田、久慈翔北 1 学級減
R12	沿岸南部	県北	
	大船渡東・調理師	久慈翔北・水産	※大船渡東 1 学級減

影響生徒 水産：高田(中 1)、久慈翔北(中 2 → 小 6)
調理師：大船渡東(中 1 → 小 5)、久慈翔北(中 2)

平館高校家政科学（家庭）科の募集停止について

- 平館高校については、令和7年度までの入学志願者の状況及び入学者推計等を踏まえて、令和9年度に家政科学（家庭）科を募集停止とします。
- 家政科学（家庭）科の入学志願者の数は、令和5年度から3年連続で10人以下であったこと、地元中学生の同校への進学率が減少していること等から計画に位置付けて募集停止とします。
- 令和9年度以降は、地域において、所在する自治体等と連携することで教育活動の充実が図られることが見込まれることから、地域校として、地域における学びの機会を保障します。

令和7年度（現状）

令和9年度（計画2年目）

平館高校



普通科 定員 40 人
家政科学科 定員 40 人
在籍 78 人(R7)
(1年 19 人、2年 24 人、3年 35 人)

R9年度 家政科学（家庭）科
募集停止

学級数の推移

学校	R9	R10	R11
普通(1)	3(1.1.1)	3(1.1.1)	3(1.1.1)
家政科学(1)	2(0.1.1)	1(0.0.1)	—
学級数計	5(1.2.2)	4(1.1.2)	3(1.1.1)

平館高校



普通科
定員 40 人

平館高校の入学者の推移

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	R3	R4	R5	R6	R7
平館	普通	普通	40	37	40	28	19	16
	家庭	家政科学	40	13	12	9	6	3

家庭の学び（学科・系列）がある学校

盛岡農業高校 人間科学科
紫波総合高校 総合学科 ライフデザイン系列
花北青雲高校 総合生活科
北桜高校 総合学科 生活・文化系列

八幡平市中学校卒業生の平館高校への進学状況

	R3	R4	R5	R6	R7
中学校卒業生数	186	173	165	149	146
普通科進学者数	33	40	26	19	16
[%]	17.7%	23.1%	15.8%	12.8%	11.0%
家政科学科進学者数	12	11	8	4	2
[%]	6.5%	6.4%	4.8%	2.7%	1.4%

平館高校の入学者の推計

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
平館	普通	普通	40	21	22	21	19	19	20	17	16	15	12
	家庭	家政科学	40	6	6	6	6	5	6	5	5	4	3

JR花輪線時刻表

平館	6:52
好摩	7:10
滝沢	7:21
盛岡	7:37
盛岡	18:06
滝沢	18:22
好摩	18:32
平館	18:49

北桜高校（総合校舎）

約 50 km

平館高校

盛岡農業高校

紫波総合高校

花北青雲高校

いわて沼宮内駅

約 21 km

約 50 km

約 55 km

IGR時刻表

好摩	7:04
いわて沼宮内	7:14
一戸	7:44
一戸	18:30
いわて沼宮内	18:59
好摩	19:09

JR東北本線時刻表

盛岡	7:51
紫波中央	8:11
石鳥谷	8:19
石鳥谷	17:28
紫波中央	17:36
盛岡	17:59

大東高校情報ビジネス（商業）科の募集停止について

入学志願者の数が1桁となった1年目であることから、情報ビジネス（商業）科の募集停止（1学級減）の時期を「令和9年度（当初案）」から「令和11年度」に修正します。

- 大東高校については、令和7年度までの入学志願者の状況及び入学者推計等を踏まえて、令和9年度に情報ビジネス（商業）科を募集停止とします。
- 情報ビジネス（商業）科のこれまでの入学志願者の数の推移及び今後の入学志願者の推計に加え、地元中学校の卒業者数が令和7年度から大幅に減少すること及び地元中学生の同校への進学率が減少していること等から計画に位置付けて募集停止とします。
- 令和9年度以降は、地域において、所在する自治体等と連携することで教育活動の充実が図られることが見込まれることから、地域校として、地域における学びの機会を保障します。

令和7年度（現状）・・・・・・・・・・>>令和8年度（計画1年目）・・・・・・・・・・>>令和9年度（計画2・4年目）



普通科
定員 80 人
情報ビジネス科
定員 40 人
在籍 132 人(R7)

普通科1学級減（管理運営規則）

情報ビジネス（商業）科 募集停止



普通科
定員 40 人

学級減等による学級数の推移（当初案と修正案比較）

当初案	R7	R8	R9	R10	R11
普通科(2)	6(2.2.2)	5(1.2.2)	4(1.1.2)	3(1.1.1)	3(1.1.1)
情報ビジネス(1)	3(1.1.1)	3(1.1.1)	2(0.1.1)	1(0.0.1)	—
学級数計	9(3.3.3)	8(2.3.3)	6(1.2.3)	4(1.1.2)	3(1.1.1)

修正案	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
普通科(2)	6(2.2.2)	5(1.2.2)	4(1.1.2)	3(1.1.1)	3(1.1.1)	3(1.1.1)	3(1.1.1)
情報ビジネス(1)	3(1.1.1)	3(1.1.1)	3(1.1.1)	3(1.1.1)	2(0.1.1)	1(0.0.1)	—
学級数計	9(3.3.3)	8(2.3.3)	7(2.2.3)	6(2.2.2)	5(1.2.2)	4(1.1.2)	3(1.1.1)

大東高校及び千厩高校の入学者の推移

学校名	大学科	学科・学系・コース	募集定員	R3	R4	R5	R6	R7
大東	普通	普通	80	43	46	42	34	27
	商業	情報ビジネス	40	21	13	13	17	3
千厩	普通	普通	120	105	102	73	115	78
	農業	生産技術	40	31	40	18	37	28
	工業	産業技術	40	24	22	25	26	34

一関市、大東中学校、千厩中学校卒業者数の推移（大東中学校、千厩中学校は一関市の内数）

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
一関市	959	950	894	898	840	807	768	722	750	660	615	573	547
大東中学校	97	104	74	73	75	58	75	64	74	43	48	43	
千厩中学校	93	72	72	76	75	58	57	61	57	46	56	47	

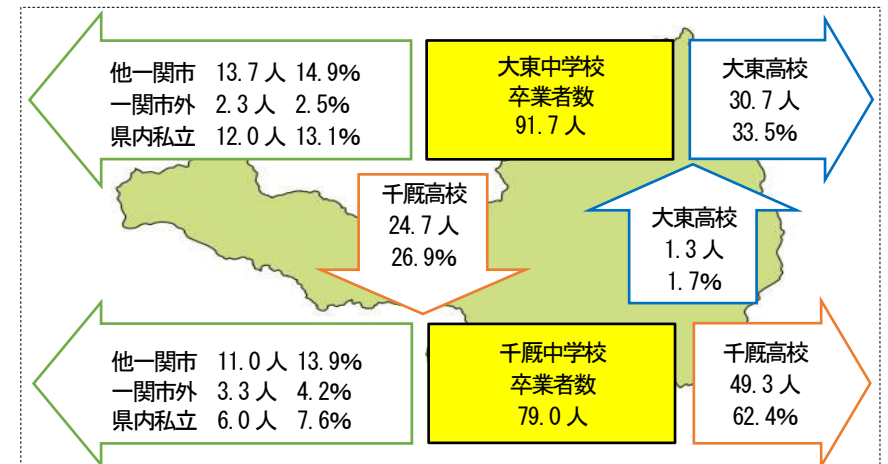
【参考】

大東及び千厩高校の現在の募集定員は320人、令和7年3月の大東及び千厩中学校の卒業者数は146人

大東高校の入学者の推計

学校名	大学科	学科・学系・コース	募集定員	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
大東	普通	普通	80	33	30	29	27	25	26	22	20	18	17
	商業	情報ビジネス	40	10	10	9	9	8	8	7	6	6	6

地元中学校卒業者の地域間交流（R5, R6, R7の平均）



黒沢尻工業高校の学科改編について

- ・ 黒沢尻工業高校については、地域振興の方向性や産業構造、中学生の志望動向、高校卒業後の進路状況等を見据え、令和9年度に既存の1学科を半導体関連の学科へ改編します。
- ・ 新設学科では、半導体の構造や製造技術、電子回路、デバイス関係について学び、「理論と実習を結びつけた実践技術力」「課題解決能力」「地域産業や社会に貢献できる人材の育成」を目指します。

1 新設学科の新たな学びと期待される効果等

①電気系学科の充実による「ニーズに応えた」人材の育成 ②周辺施設を活用した本格的な学び ③充実した進路指導 ④新たな学びの導入による「半導体のまち」の活性化

2 新設学科の学び

- ・ 学校設定科目「半導体工学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（各学年3単位）、「半導体制御技術」（3学年4単位）を設置します。
- ・ 官公庁及び半導体関連企業から講師を招聘し、半導体産業に関する知識・理解を探究します。
- ・ 北上市、いわて半導体関連産業集積促進協議会（I-SEP）及び北上川流域ものづくりネットワークとの連携により講座開設します。
- ・ いわて半導体関連人材育成施設（I-SPARK）の施設を活用し、授業実践をします。

【想定される教育課程（案）】

普通科目															工業共通科目					各科専門科目			学校設定科目							
学年\単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 学 年	現代の国語		言語文化		地理総合		数学Ⅰ				科学と人間生活		体育		保健	音楽Ⅰ		英語ＣⅠ			工業技術基礎			電気回路			半導体工学Ⅰ			LHR
美術Ⅰ																														
2 学 年	国語表現		公共		数学Ⅱ			物理基礎		体育		保健	英語ＣⅡ		家庭基礎		実習			工業情報数理		電気回路			電子回路		半導体工学Ⅱ			LHR
3 学 年	国語表現		歴史総合		数学Ⅱ		体育			英語ＣⅡ		課題研究			実習			製図			電子回路		半導体工学Ⅲ			数学Ｃ		化学基礎		LHR
数学Ｃ																										論理・表現Ⅰ				
半導体制御技術																														

※開設科目、科目名及び単位数等は変更となる場合があります。

3 想定される進路先

例年の進路先に加え、進学指導においては、四年制工学系大学（電子、情報系学科）への進学を推進します。就職指導においては、高校卒の場合は技能職（直接作業にあたるライン作業員等）採用が多いが、新設学科生徒は技術職（間接作業にあたる設計、エンジニア等）採用が可能な能力を習得できます。

◆主な進学先（令和6年度実績）

北見工業大学・工学部、岩手県立大学・ソフトウェア情報学部・総合政策学部
東北学院大学・工学部・経済学部、日本大学・工学部、神奈川工科大学・工学部
岩手県立産業技術短期大学校、黒工専攻科、北上コンピュータアカデミー

◆主な就職先（令和6年度実績）

（管内）PEK、東京エレクトロン、キオクシア岩手、北上電工、ケミコン東日本
（県内）NTT エス・ティ・ティ エムイー、アキラ機電、デンソー岩手、和同産業
（県外）NDK 電設、鹿島道路、国土開発工業、東北電力、トヨタ自動車東日本